

## 令和2年第2回広域紋別病院企業団議会定例会会議録（第1日）

### 1 開会日時

令和2年9月30日（水）

開会 午前10時00分

### 2 議事日程

日程第1 会期の決定

日程第2 報告第1号 令和元年度広域紋別病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告について

日程第3 議案第1号 令和元年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算の認定について

日程第4 議案第2号 令和2年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）

### 3 出席議員（9名）

議長	青木邦雄君	副議長	矢野幸三君
2番	山崎彰則君	3番	鈴木敏弘君
4番	田中勝彦君	5番	保村幸二君
6番	石田久就君	7番	林政利君
10番	遠藤友宇子君		

### 4 欠席議員（1名）

9番 大原敏彦君

### 5 説明員

企業長	及川郁雄君	事務局長	西田尚市君
事務部長	高橋健仁君	総務課長	長谷川哲也君
事務部参事	住出晋一君	建設整備室主幹	谷口隆行君
総務係長	河本恵一君	職員係長	笠井愉之君
財務係長	片岡良介君	財務係主査	沼田英章君
経営企画係長	平塚健次君	医事係長	西塔信弥君
情報管理係長	中村みき君		
監査委員	村井毅君	書記	尾碕慎一君

### 6 議会出席職員

書記長	黒木主税君	書記	細川貴志君
書記	川勝亜樹子君	書記	上森香純君

午前10時0分 開会

○議長（青木邦雄君） ただいまより本日をもって招集されました令和2年第2回広域紋別病院企業団議会定例会を開会いたします。

本日の出席議員数は9名であります。よって、開議の定足数に達しましたので、これより会議を開きます。

本日の会議録署名議員には、3番鈴木敏弘君、10番遠藤友宇子さんの両名を指名いたします。

ここで書記より諸般の報告をいたさせます。

川勝書記。

○書記（川勝亜樹子君） ご報告を申し上げます。

まず、欠席でございますが、大原議員より届出がございます。

次に、本日の配付文書でございますが、本定例会議事日程、説明員等報告を配付してございます。

次に、本日の議事日程ですが、日程第1から第4までとなっております。

以上で報告を終わります。

○議長（青木邦雄君） これより本日の議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は本日1日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第2、報告第1号を議題といたします。

報告第1号について提出者の説明を求めます。

西田事務局長。

○事務局長（西田尚市君） おはようございます。

それでは、報告第1号についてご説明をいたします。

ただいま上程されました報告第1号令和元年度広域紋別病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告につきまして、ご説明を申し上げます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和元年度決算の資金不足比率の概要について、要点のみご説明させていただきます。

資金不足比率とは、貸借対照表の流動資産から流動負債を差し引いた額が赤字の場合、その赤字額を事業の規模で除した比率で、これが経営健全化基準である20%以上となりますと、経営健全化計画を策定し、事業の効率化を図り、資金不足を解消していかなければなりません。

企業団の令和元年度病院事業会計決算における資金不足比率は、流動資産が9億9,568万3,000円に対して控除後の流動負債が2億6,574万5,000円で、その差引き額7億2,993万8,000円が資金剰余となり、資金不足は発生しておりません。

以上でご報告いたしますのでよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（青木邦雄君） 質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

以上で報告を終わります。

日程第3、議案第1号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

及川企業長。

○企業長（及川郁雄君） おはようございます。

ただいま上程されました議案第1号令和元年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算の認定につきまして、提案理由を説明いたします。

広域紋別病院企業団病院事業会計決算書の2ページをお開き願います。

初めに、収益的収入及び支出に係る決算額でございますが、収益的収入額36億3,538万8,677円に対して、収益的支出額は36億4,233万8,344円というふうになっており、基金収入補助金7億4,832万3,630円をもち、特別損益を除く経常収支の均衡を図っており、収益的収支においては694万9,667円の経常損失を生じているところでございます。

次に、資本的収入及び支出に係る決算額でございますが、決算書の4ページをお開き願います。

資本的収入額1億8,726万8,000円に対して資本的支出額は4億1,685万5,466円となっております。収支不足額につきましては、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金2億2,958万7,466円により補填しております。

以上、地方公営企業法の規定により決算を了としたところでございます。提案理由の説明を終わります。

詳細につきましては事務局長が説明いたします。

○議長（青木邦雄君） 西田事務局長。

○事務局長（西田尚市君） それでは、議案第1号令和元年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算の認定につきましてご説明申し上げます。

お手元に配付しております決算書に基づきご説明申し上げますので、決算書の1ページ、2ページをお開き願います。

初めに、収益的収支から説明いたします。

なお、説明に際しましては、予算額は合計額のみ説明させていただきますのでご了承願います。

収益的収支の収入についてであります。1款病院事業収益は予算額36億4,424万1,000円、決算額36億3,538万8,677円で、予算額に対し885万2,323円の減となっております。

次に、支出についてであります。1款病院事業費用は予算額36億6,335万2,000円、決算額36億4,233万8,344円で、不用額は2,101万3,656円となっております。

なお、特別損益を除く経常収支の不足額は、基金収入補助金7億4,832万3,630円をもって経常収支の均衡を図っており、収益的収支においては694万9,667円の経常損失を生じているところであります。

次に、3ページ、4ページをお開き願います。

資本的収支の収入についてであります。1款資本的収入は予算額2億1,185万2,000円、決算額1億8,726万8,000円で、予算額に対し2,458万4,000円の減となっております。

次に、支出についてであります。1款資本的支出は予算額4億6,768万5,000円、決算額4億1,685万5,466円で、不用額は5,082万9,534円となっております。

なお、収支不足額 2 億 2,958 万 7,466 円につきましては、当年度分消費税資本的収支調整額 2,827 万 7,573 円、過年度分損益勘定留保資金 2 億 130 万 9,893 円をもって補填しております。

次に、5 ページをお開き願います。

令和元年度広域紋別病院企業団病院事業損益計算書であります。

1、医業収益 20 億 1,301 万 6,779 円から 2、医業費用 34 億 9,506 万 6,635 円を差し引いた医業損失は、14 億 8,204 万 9,856 円であります。

次に、3、医業外収益 16 億 666 万 2,369 円から 4、医業外費用 1 億 2,593 万 3,315 円を差し引いた医業外利益は 14 億 8,072 万 9,054 円であり、医業損失から医業外利益を差し引いた経常損失は 132 万 802 円であります。

次に、5、特別利益 955 万 2,910 円から 6、特別損失 1,654 万 6,023 円を差し引いた損失は 699 万 3,113 円であり、経常損失を加え、当年度純損失は 831 万 3,915 円であります。

また、前年度繰越利益剰余金は、3 億 1,923 万 6,120 円でありますので、当年度未処分利益剰余金は 3 億 1,092 万 2,205 円であります。

次に、6 ページをお開き願います。

令和元年度広域紋別病院企業団病院事業剰余金計算書であります。

資本金の部の自己資本金であります。前年度末残高から増減はありませんので、当年度末残高は 46 万 8,969 円あります。

次に、剰余金の部の資本剰余金であります。前年度末残高から増減はありませんので、当年度末残高は 2 億 6,667 万 2,422 円あります。

次に、利益剰余金であります。前年度末残高に当年度純損失 831 万 3,915 円を控除した結果、当年度末残高は 3 億 1,092 万 2,205 円あります。したがって、資本金と剰余金を合わせました資本合計の当年度末残高は 5 億 7,806 万 3,596 円あります。

次に、令和元年度広域紋別病院企業団病院事業剰余金処分計算書であります。

剰余金処分数額はありませぬので、当年度末残高と処分後残高は同額となっております。

次に、7 ページでございます。

令和元年度広域紋別病院企業団病院事業貸借対照表であります。

資産の部、1、固定資産は、(1)有形固定資産、(2)無形固定資産及び(3)投資の合計で、86 億 6,925 万 2,258 円あります。

次に、8 ページ、9 ページをお開き願います。

2、流動資産は、(1)現金預金、(2)未収金及び(3)貯蔵品の合計で、9 億 9,568 万 2,842 円あります。

1、固定資産に、2、流動資産を加えた資産合計は、96 億 6,493 万 5,100 円あります。

次に、負債の部であります。3、固定負債は、(1)企業債、(2)紋別市借入金、(3)割賦未払金、(4)引当金及び(5)その他固定負債の合計で 66 億 5,394 万 9,224 円あります。

4、流動負債は、(1)企業債、(2)紋別市借入金、(3)割賦未払金、(4)未払金、(5)引当金及び(6)その他流動負債の合計で、4 億 9,417 万 5,512 円あります。

5、繰延収益は、(1)長期前受金及び(2)長期前受金収益化累計額の合計で、19 億 3,874 万 6,768 円あります。

3、固定負債、4、流動負債及び 5、繰延収益を加えた負債合計は、90 億 8,687 万 1,504 円あります。

次に、資本の部であります。6、資本金は、(1)自己資本金が46万8,969円であります。

7、剰余金は、(1)資本剰余金及び(2)利益剰余金の合計で、5億7,759万4,627円であります。

6、資本金及び7、剰余金を加えた資本合計は5億7,806万3,596円ありますので、これに負債合計を加えた負債資本合計は96億6,493万5,100円あります。

次に、10ページから18ページまでは事業報告書であります。内容は、概況、工事、業務、会計、その他であり、ただいまご説明いたしました決算に関連した資料で記載のとおりでありますのでご通覧願います。

以上、令和元年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算のご説明を終わりますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（青木邦雄君） 次に、企業団病院事業会計決算について監査委員の意見を求めます。

村井監査委員。

○監査委員（村井 毅君） おはようございます。

それでは、令和元年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算審査について、その概略をご説明申し上げます。

審査意見書の1ページをお開き願います。

なお、総体的な計数につきましては、ただいま事務局長より説明がありましたので割愛させていただきたいと存じます。

まず、審査の対象でございますが、地方公営企業法第30条第2項の規定によりまして審査に付されました令和元年度病院事業会計決算並びに財政調整基金運用状況でございます。本年5月29日から8月28日にかけて審査を行ったものでございます。

その審査の概要でございますが、広域紋別病院企業団監査基準に基づきまして、審査の着眼点を、決算報告書につきましては関係法令への準拠性、表示に係る正確性及び適正性に加えまして、基金の運用状況につきましては運用に係る設置目的の整合性に置きました。具体的には、決算報告書、財務諸表と総勘定元帳などとの照合、検算、関係書類閲覧や説明等の聴取によりまして、計数及び予算執行の適否を確認いたしましたほか、所管の現金預金につきましては例月現金出納検査で実施しておりますことから原則として本審査の対象外として審査を行ったものでございます。

審査の結果でございますが、決算書表等は法令に準拠して作成され、計数も正確であり、経営成績や財政状態も適正、かつ確実に表記されておまして、基金の運用状況につきましても設置目的に沿って運用され、計数も正確と認めたものでございます。

以上、概略を申し上げましたが、末尾に参考資料を添付いたしましたほか、19ページから20ページにかけて総括といたしまして審査意見を記載してございますので、ご通読をいただきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（青木邦雄君） 質疑を行います。

まず、議案第1号収入支出のうち、支出について質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

よって議案第1号収入支出のうち、支出についての質疑を終結いたします。

次に、議案第1号収入支出のうち、収入について質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第1号は認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。よって、議案第1号は認定することに決しました。

日程第4、議案第2号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

及川企業長。

**○企業長（及川郁雄君）** ただいま上程されました議案第2号令和2年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）につきまして提案理由を説明いたします。

本案は、予算第3条で定める収益的収入及び支出において、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染症廃棄物ホルダーの購入などの費用の追加や、感染症病床確保促進事業費補助金として見込まれる病床確保料に係る予算補正を行おうとするものでございます。

既決収入予定額38億4,102万円に2,965万7,000円を追加し、収入総額を38億7,067万7,000円に、既決支出予定額38億5,201万9,000円に同額を追加しまして38億8,167万6,000円にしようとするものでございます。

また、予算第4条で定める資本的収入及び支出において、医師公宅整備に係る設計変更などの費用の追加、PCR検査機器、脊椎用機器一式などの医療機器の整備を行うため予算補正を行おうとするものでございます。

既決収入予定額2億3,728万6,000円に1億748万2,000円を追加し、収入総額を3億4,476万8,000円に、既決支出予定額4億6,095万3,000円に5,532万円を追加しまして、支出総額を5億1,627万3,000円にしようとするものでございます。

なお、予算第4条本文括弧書き中の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億2,366万7,000円を1億7,150万5,000円に、過年度分損益勘定留保資金1億8,821万円を1億3,604万8,000円にそれぞれ改めまして、収支の均衡を図ったものでございます。

以上で提案理由の説明を終わります。詳細につきましては事務局長が説明いたします。

**○議長（青木邦雄君）** 西田事務局長。

**○事務局長（西田尚市君）** それでは、議案第2号令和2年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）につきましてご説明申し上げます。

本案は、第2条において、既決予算第2条で定めた業務の予定量について、年間患者数の入院は1,224人減少させ3万1,809人に、外来は3,376人減少させ8万6,899人に、1日平均患者数の入院は4人減少させ87人に、外来は14人減少させ358人にしようとするもので、内容は新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金における事業のうち感染症病床確保促進事業費補助金として見込まれる病床確保料増額見合い分の医療収益の減であります。

また、主な建設改良事業の資産購入費を5,532万円追加しようとするもので、内容は新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を財源として整備予定であるPCR検査機器などの医療機器購入の増であります。

次に、令和2年度広域紋別病院企業団病院事業会計補正予算実施計画につきましてご説明申し上げますので、実施計画のページをお開き願います。

既決予算第3条で定めた収益的収入において、既決収入予定額に2,965万7,000円を追加し、収入の総額を38億7,067万7,000円にしようとするもので、1項医業収益を9,544万8,000円減額し24億2,305万7,000円にしようとするもので、1目入院収益の5,053万8,000円の減額、2目外来収益の4,491万円の減額は、ともに感染症病床確保促進事業費補助金として見込まれる病床確保料増額見合い分の医業収益の減によるものであります。

次に、2項医業外収益1億2,510万5,000円を追加し14億3,811万8,000円にしようとするもので、3目補助金への同額の追加は、基金収入補助金、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の増であります。

また、収益的支出において、既決支出予定額に2,965万7,000円を追加し、支出の総額を38億8,167万6,000円にしようとするもので、1項医業費用に同額を追加し37億6,406万2,000円にしようとするもので、2目材料費への83万8,000円の追加は新型コロナウイルス感染症への対応として感染症廃棄物ホルダーを整備することに伴う医療消耗備品費の増であります。3目経費への2,881万9,000円の追加は、新型コロナウイルス感染症への対応としてタブレット端末を整備することに伴う消耗備品費の増、及び看護師の不足のため派遣看護師を増員したことに伴う委託料の増などであります。

次に、既決予算第4条で定めた資本的収入において、既決収入予定額に1億748万2,000円を追加し、収入の総額を3億4,476万8,000円にしようとするもので、1項企業債に5,520万円を追加し1億5,980万円にしようとするもので、1目同額の追加は、医療機器整備、医師公宅整備に係る病院事業債の増であります。

次に、3項補助金に5,228万2,000円を追加しようとするもので、1目同額の追加は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を財源としてPCR検査機器等の医療機器を整備することに伴う同交付金の増であります。

また、資本的支出において、既決支出予定額に5,532万円を追加し、支出の総額を5億1,627万3,000円にしようとするもので、1項建設改良費に同額を追加し、2億5,067万2,000円にしようとするもので、1目固定資産購入費への同額の追加は医療機器の追加による備品費の増及び医師公宅整備の設計変更に伴う家屋購入費の増であります。

ここで、議案第2号第5条にお戻り願います。

第5条において、既決予算第6条で定めた企業債の変更を、第6条では、既決予算第9条で定めた補助金等の金額について、補助金の既決予定額に1億7,738万7,000円を追加し8億2,780万8,000円にしようとするものであります。

以上でご説明を終わりますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（青木邦雄君） 質疑を行います。

石田久就君。

○6番（石田久就君） 建設改良費の家屋購入費についてですけれども、設計変更の理由について教えてください。

○議長（青木邦雄君） 長谷川総務課長。

○総務課長（長谷川哲也君） お答えいたします。

設計変更の理由でございますけれども、前年度に購入ということで概算で契約させていただきましたけど

も、その後に地盤調査を行って、地盤の状況によってくいを打つことが必要になったということで追加の工事が発生したものですから、その部分の設計変更をさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（青木邦雄君） よろしいですか。

（6番石田久就君「はい」と呼ぶ）

山崎彰則君。

○2番（山崎彰則君） 1点だけお伺いさせていただきます。

備品、資産の部分ですか、PCR検査の機器を購入されるということを今伺ったんですけども、今までの従来と、これを導入することによってこの後どのような形で、どのような効果が期待されるのか教えていただけないでしょうか。

○議長（青木邦雄君） 及川企業長。

○企業長（及川郁雄君） これまでPCR検査というのは、市外、主に札幌に送って検査していただきまして、大体時間的に言いますと48時間前後の時間がございました。現在、PCRを2種類購入する予定で、簡便なものとは精密なもので、簡便なものであれば数時間で結果が出ますし、より詳細なものに関してはその倍ぐらいの時間がかかると思いますが、その日のうちに結果が出るということになると思います。

現在、抗原検査は主に当院で行っておりますけれども、ただ抗原検査に関しましては、症状がある、かつウイルス量が一定程度ないと陽性と判定されませんので、その精度に関しては若干不安はあるんですが、PCRが2つ入ることによって精度の高い検査が短時間でできるようになるのではないかと、かように思います。よろしいでしょうか。

○議長（青木邦雄君） 山崎彰則君。

○2番（山崎彰則君） もう一回聞いていいですか。それはどれぐらいの数量といいますか、検査量といいますか、どれぐらいをこなせるものなのかお伺いしていいですか。

○議長（青木邦雄君） 西田事務局長。

○事務局長（西田尚市君） 今、PCR検査機器2台購入予定になっております。在庫のほうとかも、今全国各地でその検査機器が取り合いではないですけども、そういう状況でございまして、まず簡易的な部分を先に1台入れると。それは1検体で大体検査は1時間ぐらいなんですけども、その前後の準備とかもございまして、1時間から2時間程度で結果が出るという形になります。その後、2台目の検査機器につきましては4検体まで、一度に4検体取れるような形になります。時間につきましては同様の1時間から2時間という形で結果が出るというふうになってございます。

以上です。

○議長（青木邦雄君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第2号は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。



以上をもって本定例会に付議されました案件は全部終了いたしました。

令和2年第2回広域紋別病院企業団議会定例会はこれをもって閉会いたします。

午前10時37分 閉会

以上、会議録の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員